

皮膚科学

責任者・コーディネーター	皮膚科学講座 高橋 和宏 准教授		
担当講座・学科(分野)	皮膚科学講座		
担当教員	高橋 和宏 准教授、森 志朋 講師、遠藤 幸紀 講師、中川 秀己 非常勤講師、馬場 俊右 講師、前田 文彦 講師、櫻井 英一 助教、渡部 大輔 特任講師、赤坂 俊英 名誉教授、玉井 克人 非常勤講師、吉田 亜希 非常勤講師、森 康記 客員准教授		
対象学年	4	区分・時間数	講義 24.0 時間
期間	通期		

・学習方針（講義概要等）

皮膚と皮膚粘膜移行部は内臓と外的環境の境界となる臓器であり、内臓と環境の影響が発疹となって表れることが多い。皮膚科学では発疹の形態と色調を分析し、そこに起こっている病態を理解することにより発疹の誘因となった外的環境、内臓障害および心的要因を類推し、これを治療と予防する学問である。

シラバスに記載されている次回の授業内容を確認し、教科書・レジメを用いて事前学修（予習・復習）を行うこと。各授業に対する事前学修の時間は最低 30 分を要する。本内容は全授業に対して該当するものとする。

・教育成果（アウトカム）

皮膚科学の講義を通じて、発疹の診かたとその病態、検査法、診断手順、治療法と予防法を修得することにより将来医師としてあるいは医学者として必要な皮膚疾患に関する知識を得て医療を提供できるようになる。

・到達目標（SBO）

1. 皮膚の基本的構造と生理学的特性および皮膚免疫機能を述べ、その異常による疾患について説明することができる。
2. 皮膚科診断学、発疹学、皮膚病理組織学、皮膚科検査法の種類とその手技を説明することができる。また、皮膚科治療法と外用剤使用法の原理を説明することができる。
3. 皮膚の免疫機構について説明し、湿疹皮膚炎、蕁麻疹・痒疹とアナフィラキシーの病態、その診断法と治療法を述べるができる。
4. 紅斑症、紅皮症、薬疹、GVHD と病態、その診断と治療法を述べるができる。
5. 紫斑と血管炎および皮膚脈管異常の皮膚症状の特徴について説明し、その診断法と治療法を述べることができる。
6. 膠原病とその類縁疾患の皮膚症状および免疫機構との関わりについて説明し、その診断法と治療法を述べることができる。

7. 紫外線を含む皮膚の物理・化学障害および光線性皮膚障害について説明し、その治療法と予防法を述べるができる。
8. 表皮の接着構造と水疱症の関わり、膿疱症の種類と病態について説明し、その診断法と治療法を述べるができる。
9. 代謝異常、メラニン生成機序からみた色素異常症について説明し、その治療法と予防法を述べることができる。
10. 表皮の角化機序と意義を説明し、先天性および後天性角化異常症の種類と病態、その診断法と治療法を述べるができる。
11. 先天性表皮水疱症など皮膚難治性疾患の病態と再生医療の関わりを説明できる。
12. 皮膚付属器の種類、生理作用およびその疾患、肉芽腫など真皮に生じる疾患の病態について説明し、診断と治療法を述べるができる。
13. 良性皮膚腫瘍、皮膚奇形、母斑症の病態を説明し、その診断と治療法を述べるができる。
14. 悪性皮膚腫瘍および皮膚リンパ腫の病態を説明し、その診断と治療法を述べるができる。
15. 皮膚の感染防御機構と、ウイルス性および細菌性皮膚感染症による皮膚病変の病態を説明し、その診断と治療法を述べるができる。
16. 皮膚抗酸菌症、真菌性感染症、性病と節足動物による皮膚障害の病態を説明し、その診断と治療法を述べるができる。

・ 講義日程

(矢) 西 104 1-D 講義室

【講義】

月日	曜日	時限	講座(学科)	担当教員	講義内容
4/5	火	1	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	巧みな皮膚の構造と機能
4/5	火	2	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	発疹の見方が正しい診断と治療を導く
4/12	火	1	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	物理的皮膚障害の病態と治療戦略
4/12	火	2	皮膚科学講座	森 康記 客員准教授	内臓疾患や薬剤の影響で紅斑症が生じる
4/19	火	1	皮膚科学講座	赤坂 俊英 名誉教授	皮膚脈管系の巧妙な働きと障害
4/19	火	2	皮膚科学講座	中川 秀己 非常勤講師	遺伝性角化異常はケラチン蛋白の異常発現で、炎症性角化症はサイトカイン異常分泌で生じる
4/26	火	1	皮膚科学講座	森 志朋 講師	皮膚病変から膠原病を診断する
4/26	火	2	皮膚科学講座	遠藤 幸紀 講師	水疱症は表皮細胞接着分子の自己免
5/10	火	1	皮膚科学講座	前田 文彦 講師	皮膚悪性腫瘍（悪性リンパ腫も含む）の診断と治療

5/10	火	2	皮膚科学講座	森 志朋 講師	湿疹皮膚炎は表皮のバリア異常と免疫反応による
5/17	火	1	皮膚科学講座	森 康記 客員准教授	稀だが見逃してはならない皮膚真菌症・皮膚抗酸菌症・性病・虫による皮膚病
5/17	火	2	皮膚科学講座	馬場 俊右 講師	皮膚付属器と真皮の巧妙な構造と役割
5/24	火	1	皮膚科学講座	高橋 和宏 准教授	母斑症は皮膚と内臓の奇形の表現型である
5/24	火	2	皮膚科学講座	吉田 亜希 非常勤講師	メラニンや微量元素・蛋白の異常は色素異常症や皮膚の代謝異常症を生じる
5/31	火	1	皮膚科学講座	渡部 大輔 特任講師	感染症の発疹を見逃すな
5/31	火	2	皮膚科学講座	玉井 克人 非常勤講師	皮膚難病治療への挑戦——体内再生誘導医療開発——

・教科書・参考書等

教：教科書 参：参考書 推：推薦図書

	書籍名	著者名	発行所	発行年
推	皮膚科学 9 版	上野賢一、大塚藤男	金芳堂	2011
推	標準皮膚科学 10 版	富田靖 監修	医学書院	2013
推	皮膚病アトラス 5 版	西山茂夫 著	文光堂	2004
推	カラー皮膚科(チャート医師国試対策)	川田暁、森田明理 著	医学評論社	2010
推	皮膚科 第 5 版(国試マニュアル 100%) シリーズ)	KM100%編集委員会 編著	医学教育出版社	2008

・成績評価方法

試験 100%

・特記事項・その他

1.巧みな皮膚の構造と機能 1 回 2.発疹の見方が正しい診断と治療を導く 1 回 3.湿疹皮膚炎は表皮のバリア異常と免疫反応による 1 回 4.内臓疾患や薬剤の影響で紅斑症が生じる 1 回 5.皮膚脈管系の巧妙な働きと障害 1 回 6.皮膚病変から膠原病を診断する 1 回 7.物理的皮膚障害の病態と治療戦略 1 回 8.水疱症は表皮細胞接着分子の自己免疫疾患である 1 回 9.メラニンや微量元素・蛋白の異常は色素異常症や皮膚の代謝異常症を生じる 1 回 10.遺伝性角化異常はケラチン蛋白の異常発現で、炎症性角化症はサイトカイン異常分泌で生じる 1 回 11.難病治療への挑戦：皮膚再生医療の新しい展開 1 回 12.皮膚付属器と真皮の巧妙な構造と役割 1 回 13.母斑症は皮膚と内臓の奇形の表現型である 1 回 14.見逃してはならない皮膚悪性腫瘍の診断と治療 1 回 15.感染症の発疹を見逃すな 1 回 16.稀だが重要な皮膚真菌症・抗酸菌症・性病・虫による皮膚病 1 回
--

・授業に使用する機器・器具と使用目的

使用区分	機器・器具の名称	台数	使用目的
講義	パソコン一式 PowerMacG5	2	講義用スライド作製
講義	パソコン一式 M9249J/A	1	講義用スライド作製
講義	ノートパソコン一式 PowerBOOKG4	1	講義用スライド作製
実習	デジタル一眼レフカメラ EOS-10D	1	講義用写真
実習	一眼レフ対応ダーマフォトモジュールセット	1	講義用写真